

令和 7 年度堺市病院連絡会結果（概要）

開催日時：令和 7 年 12 月 23 日（火） 場所：堺市役所 本館 3 階 大会議室

出席病院：別添一覧

1 地域医療構想の推進に関する意見

○特になし

2 病院の将来プランに対し意見のあった病院とその回答

○特になし

3 圏域内協議

(1) 救急医療について

- ・夜間救急では働き方改革の影響により医師の確保が難しく、受入困難な事例につながっている。
- ・限られた医療資源の中で、夜間休日に対応可能な疾患や各医療機関の役割分担を明確化し、地域で連携して進めていけるとありがたい。
- ・急性期から慢性期まで切れ目のない医療提供体制を構築することが重要である。具体例として、情報共有の強化による搬送調整の効率化を図ることが考えられる。
- ・患者の状態に応じて回復期への早期移行する体制を整えている。

(2) 高齢者救急について

- ・高齢化の進展に伴い、誤嚥性肺炎や複合疾患を抱える高齢患者が増加し、転院調整の難航や、施設からの軽症搬送の増加、ACP（人生会議）が機能しない事例も見られる。また、認知症や独居高齢者は退院調整が長期化することもある。
- ・受け入れ後の急性期治療と機能維持の両立を維持していけるのかが課題である。
- ・施設・病院間の情報共有にばらつきがあることや急性期病院と後方支援病院で治療方針の共有が十分にできているとは言えない場合があることが課題ではないか。
- ・誤嚥性肺炎や複合疾患への積極的な対応を進めるためにも、入院直後から多職種チームによる退院支援を開始している。また、在宅復帰を支援し、施設や在宅医療とのスムーズな連携体制を構築している。